

「3.11」とICT～大震災が問う日本の情報通信インフラ～

「ソーシャルメディアは役立ったのか」
～被災地支援の現場から～

ジャーナリスト/NTTレゾナント
藤代 裕之

プロフィール

- 広島大学文学部卒、立教大学大学院前期修了
- 徳島新聞社に入社
 - 社会部で司法・警察、地方部で地方自治を担当
 - 文化部、若者向け紙面のリニューアルとネット活用に取り組む
- 2005年からNTTレゾナント(ポータルサイト: goo)
 - ニュースデスクやCGM編集長を経てgooラボ担当
- 早稲田大学大学院ジャーナリズムスクール、学習院大学などで非常勤講師
- 日本ジャーナリスト教育センター(JCEJ)代表運営委員

被災地で役に立っているのか

□ 現場では ? というより 怒

- 「ネットは何の役に立つの?」「IT屋は箱だけ作って使えという。入力の人手も足りないんだ」「PCやタブレット端末は鍋敷き」(活動中に聞いた言葉)
- 「IT支援? パソコン? 車か人がほしい」(三陸沿岸でIT支援をしている岩手県立大学村山先生@情報ネットワーク法学会パネル)

被災地で役に立っているのか

- <疑問> 誰(もしくはどのような団体)が「役に立った」「役に立たなかった」と発言しているのだろうか？
- 東日本大震災の2面性
 - 地震・津波被害が出た東北地方を中心とする被災地とその支援
 - 帰宅難民、原子力発電所事故と節電、計画停電などの課題がある首都圏とその対応

ソーシャルメディアと支援

- 記録
 - ユーザーによる被害状況の記録 (YouTubeやニコニコ動画、Yahoo!、Google)
- 発信
 - 被災地のユーザー、岩手県など公共機関、報道機関の発信ツールとして利用拡大
- 連絡
 - Googleパーソンファインダーによる安否確認
 - mixiのメッセージやログイン、twitterのDM
- 支援
 - Amazonのほしいもののリスト
 - 節電キャンペーン (ヤシマ作戦、ウエシマ作戦)
 - 義捐金 (ポイントやオークション、クーポン)

ソーシャルメディアを使った支援事例



amazon.co.jp



- 状況
 - 避難所への物資の偏り
- 課題
 - 行政の構造、パソコン使える人が少ない
- 解決策
 - 人(全国)・システム・人(被災地)

ソーシャルメディアを使った支援事例

□ Google

- パーソンファインダー
- 通行実績マップ
- 航空写真情報
- YouTube消息情報チャンネル
- 東日本ビジネス支援サイト
- 未来へのキオク」



ソーシャルメディアを使った支援事例

□ Yahoo!

- 復興支援ポータル
- 義捐金、チャリティーオークション
- ボランティア情報
- 写真保存プロジェクト
- 電力アプリ、電気予報 (API)

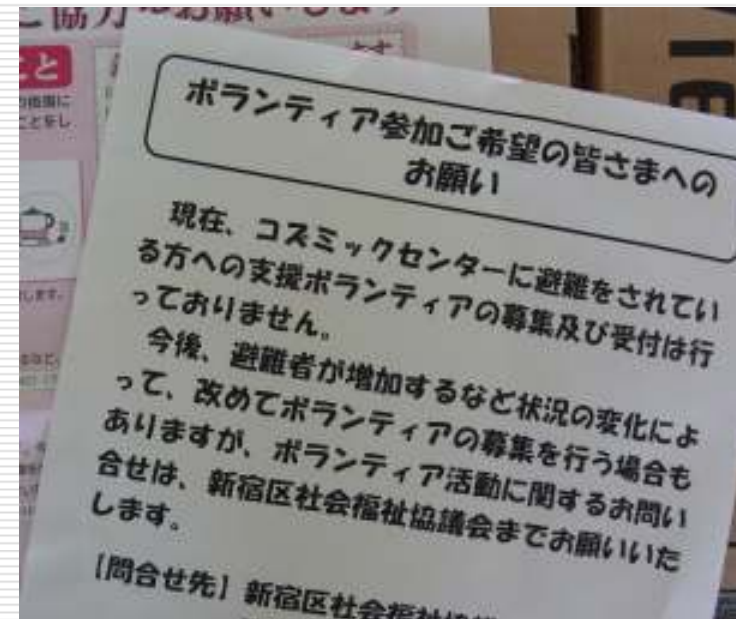
The screenshot shows the Yahoo! Japan homepage with a dedicated section for disaster relief. At the top, there's a banner for '復興支援 東日本大震災' (Disaster Relief Great East Japan Earthquake) with a QR code and a link to the relief portal. Below this, there's a section titled '東日本大震災 写真保存プロジェクト' (Great East Japan Earthquake Photo Preservation Project). This section includes a search bar for disaster-stricken areas, a list of affected areas, and a button to '保存する写真について' (About photos to be saved). A large blue box displays '現在の写真枚数: 10,374枚(本日44枚)' (Current number of photos: 10,374 (44 today)). Below this, there's a message: 'あなたが撮影した写真は、被災された方の、かけがえのない思い出かもしれない。100年後の防災に役立つかもしれない。大切な写真が失われてしまうことのないよう、貴重な一枚を将来に役立てていけるよう、みなさまのお力を本プロジェクトにお貸しください。' (The photos you took may be irreplaceable memories for those affected. They may be useful for disaster prevention 100 years later. To prevent precious photos from being lost, please lend your precious photos to be used in the future. We appreciate your support for this project.)

自身の関わった活動

- 3月14日より「ボランティア情報」を集めて、ボランティアと被災地をつなぐ、情報ボランティア活動を行う
- <課題>
 - ボランティアしたい人は多いのに探しにくい＝各団体のホームページやブログに情報が分散
 - ボランティアはいまだ紙情報が多い
 - NPOやVC(ボランティアセンター)が過酷な現場を前に情報発信が後回しに...

ボランティアに関する情報

被災地:「人手まだまだ足りず」石巻日日新聞



「ボランティア募集はありません」: 東京

ボランティアインフォ(旧 ボランティア情報ステーション)の活動経過

□ 活動状況

- 3月14日 ツイッターで呼びかけ。wikiシステムを使って、ボランティア情報のまとめサイト作る
- 3月24日 データベースに変更
- 3月30日 ボランティア情報がヤフーに掲載
- 4月15日 仙台駅前にリアルのステーションを設置
- 5月～ 「ボランティアインフォ」に引継ぎ

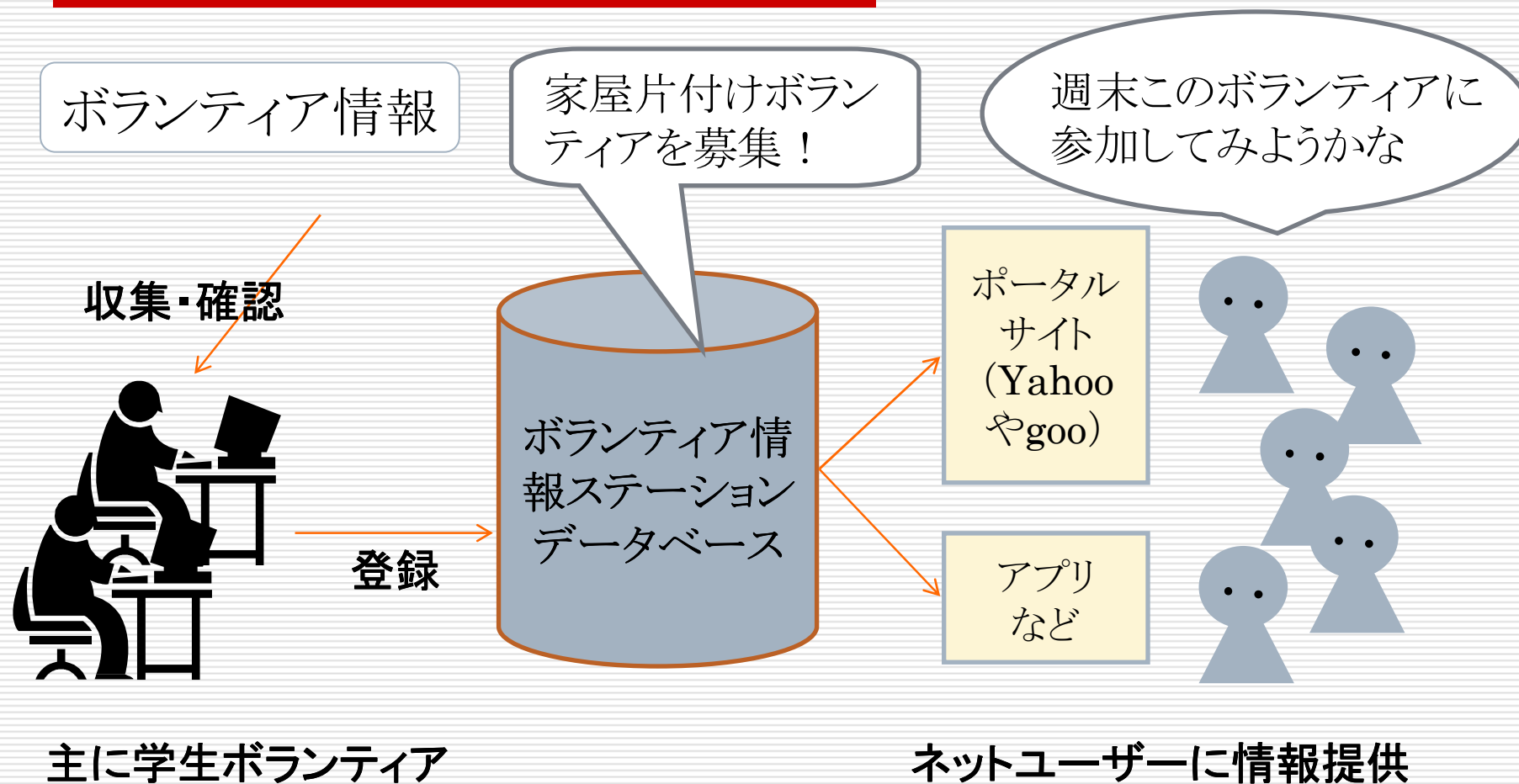
□ 体制

- ネット企業、広告代理店らがスキルを活用。大学生が支える手弁当の体制+企業による物品・人支援

□ 実績

- ボランティア情報をヤフー、goo、niftyなど主要ポータルに掲載。

ボランティアインフォ(旧 ボランティア情報ステーション)のデータベース利用図



活動のまとめ

- ソーシャルメディア「だけ」では完結しない
 - 仙台駅で案内所運営
- 情報ボランティアは、「発信」から「貢献」フェーズに
- まだまだ足りない...
 - ボランティア参加者は
阪神淡路60万人
11万人(発生後1ヶ月)
 - ニーズはますます細分化



皆さんへお願い

- ボランティアインフォの活動にご支援を
 - 状況:手弁当で立ち上がったボランティアが継続的活動への転換点に。スタッフが貯金を崩して活動
 - 支援が得られにくい理由:助成を申し込むも...情報ボランティア、インターネットへの理解低
 - 課題:「データベースの量」「データベースの質」「発信面の少なさ」、そして人と資金

- 参考:ボランティアインフォのサイト
<http://volunteerinfo.jp/>

参考

□ 藤代のブログ・ツイッター

■ ブログ「ガ島通信」

<http://d.hatena.ne.jp/gatonews/>

■ ツイッター

<http://twitter.com/fujisiro>

□ ネット上での連載

■ 日本経済新聞電子版「ソーシャルメディアの歩き方」

<http://www.nikkei.com/>

■ ITmedia「現場ルポ・被災地支援とインターネット」

<http://www.itmedia.co.jp/news/>